

質問回答

平成 25 年 4 月 15 日

「ラオス国 JICA-ASEAN 連携ラオスパイロットプロジェクト中間レビュー調査」

(公告日:平成 25 年 4 月 3 日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	<p>(指示書 p.2) 現地調査に関して、コンサルタント団員は JICA 事務所から参加する総括団員及び協力企画団員に約 10 日間先行して現地調査の開始を予定している。</p> <p>(指示書 p.5) 一般業務費の計上は不要。</p>	<p>調査は原則として JICA 調査団とコンサルタント団員が一緒に行動することですが、一方で指示書には、上記事項も示されています。</p> <p>コンサルタント団員が現地到着後の最初の 10 日間の間に、コンサルタント団員のみで c/p などの関係者にヒアリングをすることは想定されていませんか？ コンサルタント団員のみで、調査を開始するとなれば現地国内での移動(陸路、空路)に必要な経費や、備人費(通訳)が発生すると思われませんが、それらの見積は不要でしょうか？また、2人のコンサルタントの国内の訪問地は、それぞれの担当分野によって異なるため、別行動が予測されます。各ヒアリングの場への移動や通訳について、コンサルタント側では手配を行う必要はまったくないということでしょうか？</p>	<p>現地で発生しうる必要な諸手配(通訳の手配、移動手段の確保)は JICA が行いますので、一般業務費の見積は不要です。</p>

以上